



令和6年7月4日

独立行政法人福祉医療機構

経営サポートセンター長 林田 基宏

経営サポートセンター

リサーチグループリーダー 緒方 武虎

担当 寺尾・溝川・管野（電話）03-3438-9932

（FAX）03-3438-0371

病院経営動向調査（2025年6月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎（3月、6月、9月、12月）に実施しています。今回は2025年6月に実施した本調査の結果についてご報告します。

詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：病院（347施設）を運営する法人269法人（うち、医療法人226法人）*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項：病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、2024年度の経営状況等
- 回答数：病院：230 医療法人：155 有効回答数：病院：230 医療法人：155
- 有効回答率：病院：66.3% 医療法人：68.6%
- 実施期間：2025年6月2日（月）～ 2025年6月23日（月）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【病院の動向】

- 医業収益のDIは、一般病院が10（前回調査より3%ポイント低下）、療養型病院が7（同4%ポイント上昇）、精神科病院は△14（同11%ポイント上昇）となった。
- 医業収支（黒字・赤字）のDIは、一般病院が△44（前回調査より15%ポイント低下）、療養型病院が9（同0.4%ポイント低下）、精神科病院は△34（同7%ポイント上昇）となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が△32（前回調査より11%ポイント低下）、療養型病院が△7（前回調査より7%ポイント低下）、精神科病院は△49（同10%ポイント低下）となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が△35（前回調査より14%ポイント上昇）、療養型病院が△34（同11%ポイント上昇）、精神科病院は△43（同16%ポイント上昇）となった。
- 経営上の課題として「人件費の増加」を挙げた病院は、一般病院が68.9%（前回調査より変化なし）、療養型病院が70.5%（同1.0ポイント低下）、精神科病院が48.6%（同2.4ポイント上昇）となった。

【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは11（前回調査より3%ポイント上昇）、事業収支（黒字・赤字）のDIは△27（同9%ポイント低下）、資金繰りDIは△23（同5%ポイント低下）、従業員数のDIは△37（同11%ポイント上昇）となった。

【その他】

- 2024年度の医業収益は、前年度（2023年度）比で増加の病院が25.2%、減少の病院が13.1%となった。また、医業費用は増加の病院が44.9%となり、最終的に医業利益が減少の病院は41.1%となった。
- 業務効率化に向けたICT機器等の導入状況について、「電子カルテシステム」が84.4%と最も高かった一方、「音声入力システム」が12.1%と最も低かった。また、「生成AI」と「RPA（robotic process automation）」は導入率が低いものの、導入した病院のうち7割以上が「導入により、業務負担感が軽減した」と回答した。